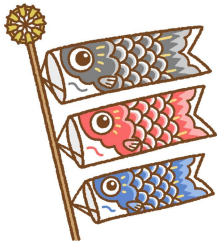


海陽風

江陽小 学校だより
第159号
令和6年4月30日

令和6年度の学校目標

校長：笹川 力



新年度スタートから3週間が過ぎました。子どもたちは新しい学年の学校生活にも慣れ、落ち着いて学習に向かっているようです。4月19日（金）の参観日には、多くの保護者の方にご来校いただきありがとうございました。出席率の高さは保護者の関心の高さの表れでもあり、非常に頼もしく感じられました。

さて、令和6年度の教育目標、学校目標は下記のとおりです。

【教育目標】 「前向きな子」

【努力目標】 思いやりのある子（徳） 進んで学ぶ子（知）
からだをきたえる子（体）

【学校目標】 「よさを知り、生き生きと深め合う児童」の育成

【教育目標】【努力目標】は、江陽小学校に脈々と受け継がれてきた、いわば長期目標です。今から約50年前（昭和49年）の努力目標が「健康でねばり強い子」「よく考え進んで学習する子」「心豊かで思いやりのある子」となっていました。多少言葉や形式の違いはありますが、令和の時代になっても変わらない、求められる子どもの姿がそこにあります。

【学校目標】は、子どもの現在の様子をもとに短いスパンで目指す、いわば短期目標です。それぞれの言葉に込めた思いを解説すると、こんな感じです。

よさを知り、 生き生きと 深め合う 児童



自分や友達のよいところを知るということです。お互いに尊重し、認め合うことで温かい学級の雰囲気を作られ、自分のことを大切にすることが育つと考えられます。



一人一人が「解決したい、達成したい、関わりたい」という思いをもって活動するという事です。自分から学習に取り組もうとする意欲が育つことも期待されます。



子どもたちがともに学び合うことで、自分の考えを一步進めるということです。そのための「話す力」「聞く力」の育成にも努めます。

子ども達のために、本校の教育活動がますます充実するよう、教職員が一つになっていきたいと思います。保護者並びに地域の皆様方の一層のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。